

第4回技術者倫理セミナー報告【高知】

H30.6.29

平成30年6月29日(金)に高知市「高知会館」において、第57回CPDセミナー・公開講座と合同開催で、第4回技術者倫理セミナーを行った。参加人数は、83名(会員36名、非会員42名、新合格者5名)であった。

講義：「技術士と技術者倫理」

技術者倫理セミナーは、倫理小委員会を構成する4県の担当者が持ち回りで講師を務めており、今回は高知県の横山成郎が担当した。

本セミナーでは、「技術者倫理」の概要を下記の4項目に沿って、「組織」や「集団」と「技術者」及び「技術者」と「公衆」との係わりについて参加者にも問いかけながら示した。

1. 最近の企業不祥事
2. 倫理・モラル・法
3. 技術者倫理とは何か
4. 技術者はなぜ特別な責任を負うのか

最初に、企業に属しその組織の中で仕事をしている技術者の倫理を考える取りかかりとして、最近の企業不祥事の事例を紹介し、不祥事が発生する原因には、「組織」や「集団」が「個人」に与える負の影響もあるが、「個人」の技術におごりや過信があったという報告書の内容を示し、参加者に問いかけた。

特に、「集団思考」はプラスの側面ばかりではなく、マイナスの側面もあり、大きな落とし穴に陥ることがあり得る、ということを示し、「八つの兆候」から示し、参加者が属する組織での「技術者倫理」に反する可能性のある集団思考で出される「結論」について考えてもらった。

次に、「倫理・モラル・法」の定義を示した上で、倫理はコミュニティの規範であり、コミュニティの中で育つものであること、そして、企業という組織の中で倫理を考えると、企業コミュニティの風土は、コミュニティの人間関係において、人々の意識が互いに浸透し合って風土が形成され、その風土がまたコミュニティの人々に浸透し、人々の性

格や行動を規定する、ということを示した。

一方、「技術者倫理」の定義が示すように、技術者倫理を構築する過程で、技術者や組織が、技術的な「価値」だけでなく、経済・文化・政治・宗教などに関連する様々な「価値」を考慮して、それらの間の適切なバランスをとりながら、技術に関連する問題を発見し、解決する総合的な問題解決能力をさらに向上し続けることが期待されている、正に技術士が持つべき資質ではないか、ということに参加者に問いかけた。

最後に、技術者がその責任を果たさずに、公衆と技術者の信頼関係が崩壊すると、社会そのものが崩壊するということを、参加者に問いかけ、技術者倫理の必要性を再確認した。



講義の状況

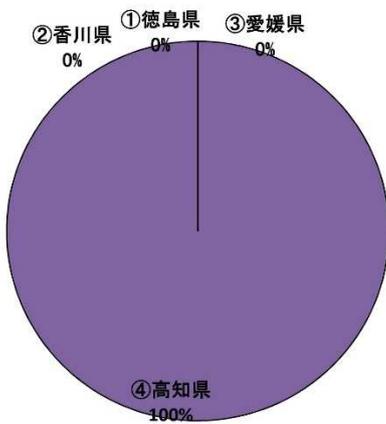
〈アンケート結果〉

本セミナーのアンケート結果は、次頁の集計結果のとおりである。アンケートは16名の提出があった。全て活動県が高知県の意見で技術部門も建設部門が81%を占めている。年齢構成は、40代が31%と高知県でも若い世代が関心を持ち始めている傾向がみられた。セミナー評価は、非常に良かった、が31%あり、あまり良くなかった、非常に良くなかった、がゼロであった。意見でもいただいたように、今回のセミナーが、倫理を改めて考えるきっかけとなった、ことは確かであり、今後も継続して技術者倫理セミナーを開催し、講義やディスカッションの機会を設けることが重要と考える。

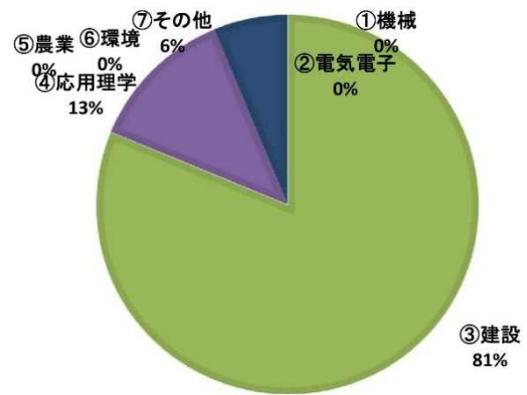
—以上—

第2回 技術者倫理セミナーアンケート集計（高知） H30.6.29

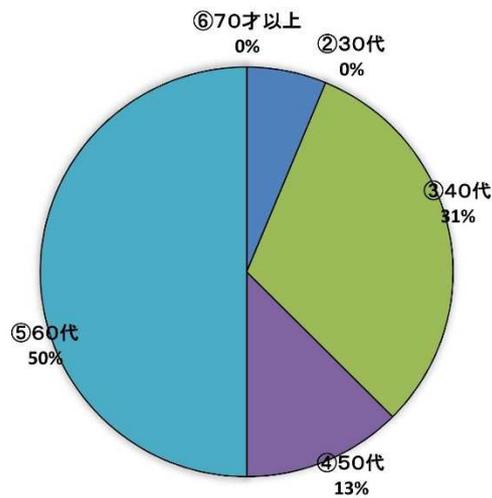
Q1：主たる活動県



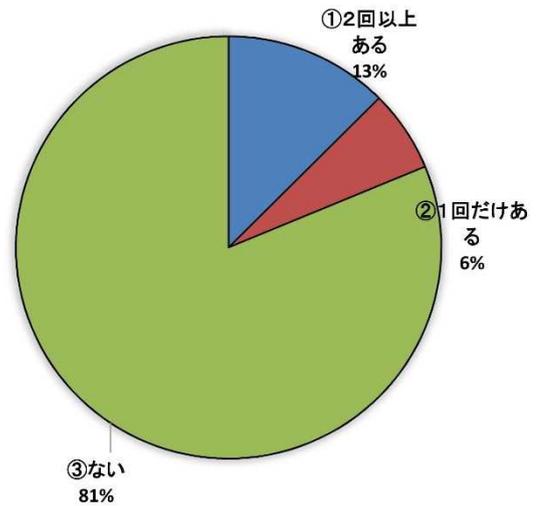
Q2：技術部門



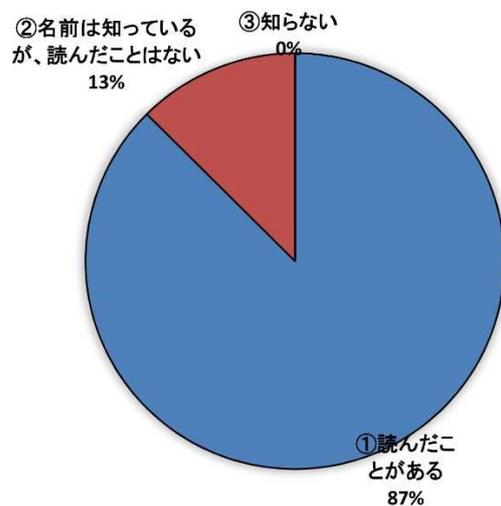
Q3：年齢



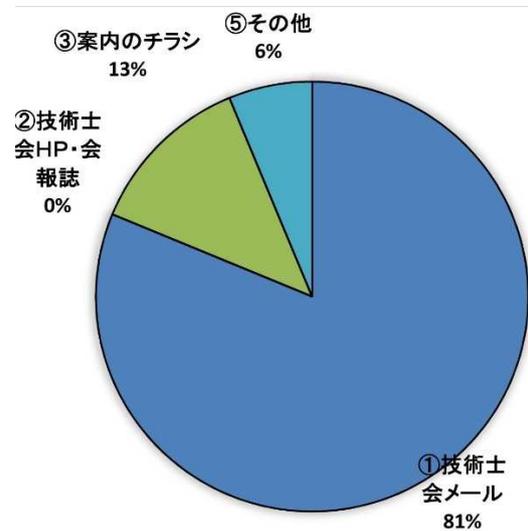
Q4：技術者倫理セミナーの参加回数



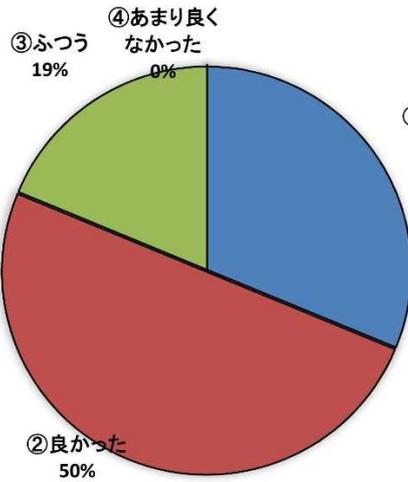
Q5：技術士倫理綱領をご存じですか



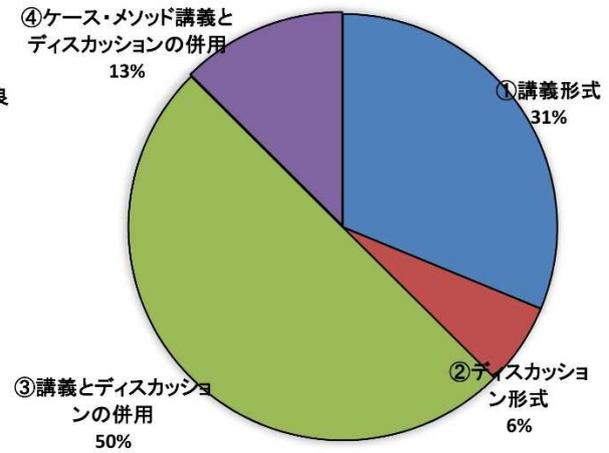
Q6：技術者倫理セミナーを知った方法



Q 7 : 本日のセミナーの参加感想



Q 8 : 今後のセミナーの方式の希望



質問 2. その他の技術部門

・上下水道 1名 ・原子力・放射線 1名

質問 7. 感想の理由

- ・横山さんの話が分かりやすく、切口が目新しかった。
- ・明確に理解していなかった事を理解するきっかけとなった
- ・集団の中では知らないうちに倫理がおろそかになることをあらためて認識した
- ・少し時間、情報量が多かった印象がある
- ・「集団思考の八つの兆候」は大変参考になりました
- ・出典を確認してからの各説明があり、大変よかったと思う
- ・新しい話題を取り上げて、解説していただいた
- ・具体性が欲しかった
- ・各メーカーの問題点を深く掘り下げ、的確に説明いただいた

質問 8. 倫理セミナー内容についての希望・要望

・講義とディスカッションを併用して、各企業等の倫理的な問題を議論し、今後に反映できればと思っています